

科技日语速成读本

张 竞 干 编



广东科技出版社

科技日语速成读本

（第二版）

科技日语速成读本

广州外国语学院

科技日语速成读本

张竞千编

广东科技出版社

科技日语速成读本

张 竞 干 编

※

广东科技出版社出版

广东省新华书店发行

广东阳春印刷厂印刷

787×1092毫米 32开本 3.25印张 70,000字

1979年3月第1版 1979年3月第1次印刷

印数 1—100,500册

书号 15162.8 定价 0.24元

编 后

本书力求以最简捷的办法，帮助大家掌握日语语文工具，读本共编成十五课，前十二课是基础课，后三课属参考性质。原书稿是科技日语速成班用的讲义，曾先后在广州地区和省内的一些单位举办的速成班中试用，收到一定的效果。

初步实践表明，用此书作教材举办速成学习班，全脱产班一个月，按每日授课一点五至两小时，其余时间为自学和辅导，或不脱产班两个半至三个月，每周授课三至四小时，都可以学完本书的全部课程。速成班需要有人辅导讲解，但学习的真正效果是要依靠学习者本人的不断努力。学完此书，仅为掌握日语工具提供了入门的条件，读者还要继续学习掌握更多的语法规律和词汇，才能较少困难地阅读及笔译有关日文科技资料和书刊等。

本书的重点是放在帮助读者掌握阅读和笔译日文科技资料、文献等必不可少的语法规律上。初步掌握这些规律，并在此基础上学会一些常用词汇，就可以借助字典等工具书阅读本专业的日文科技资料和书刊。本书也要求帮助读者正确地学习日语假名的发音，以便能更好地学习日语有关词汇。

书中错误及不妥之处，希望读者提出批评指正。

编 者

一九七八年十二月

出版说明

《科技日语速成读本》原稿是广东省科技情报研究所举办科技日语速成班采用的讲义，为了适应当前加快社会主义现代化建设的需要，帮助读者尽快地掌握日语工具，我们请原编者对原稿作了校订，并改用现在的书名出版。

日文字母表

行	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ	音	ガ	ザ	ダ	バ	行
一	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ	ン	ガ	ザ	ダ	バ	行
二	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	ん	が	ざ	だ	ば	行
三	a	ka	sa	ta	na	ha	ma	ya	ra	wa	n	ga	za	da	ba	行
四	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	イ	リ	キ	ギ	ジ	ヂ	ビ	行	行
五	い	き	し	ち	に	ひ	み	い	り	ゐ	ぎ	じ	ぢ	び	行	行
六	i	ki	shi	chi	ni	hi	mi	i	ri	i	gi	ji	ji	bi	行	行
七			(si)	(ti)							(di)	(zi)				行
八	ウ	ク	ス	ツ	フ	ム	ユ	ル	ウ	グ	ズ	ズ	ブ	プ	行	行
九	う	く	す	つ	ふ	む	ゆ	る	う	ぐ	ず	ず	ぶ	ぷ	行	行
十	u	ku	su	tsu	fu	mu	yu	ru	u	gu	zu	zu	bu	pu	行	行
十一			(tu)		(hu)						(du)					行
十二	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	エ	レ	エ	ゲ	セ	テ	ベ	行	行
十三	え	け	せ	て	ね	へ	め	え	れ	ゑ	げ	ぜ	て	べ	行	行
十四	e	ke	se	te	ne	he	me	e	re	e	ge	ze	de	be	行	行
十五	オ	コ	ソ	ト	ホ	モ	ヨ	ロ	ヲ	ゴ	ゾ	ド	ボ	ポ	行	行
十六	お	こ	そ	と	ほ	も	よ	ろ	を	ご	ぞ	ど	ぼ	ぽ	行	行
十七	o	ko	so	to	ho	mo	yo	ro	wo	go	zo	do	bo	po	行	行

* 每格里面第一个字母是片假名,第二个是平假名,最下面是罗马字拼音。

此表字母排列,系自右至左和上至下的顺序。

ウ行中的字母可用r或l标音。

目 录

第一课	平假名和片假名	1
第二课	句子和词的分类	5
第三课	动词的基本形、连用形及未然形	10
第四课	五段活用动词及形容词	15
第五课	终止形、连体形、假定形及命令形	20
第六课	用言的复合、连用及进行态和持续态	26
第七课	推量式、完成式和表示并列的助词的用法	32
第八课	助动词れる、られる及せる、させる	38
练习 (一)		
第九课	形式体言和形式用言	46
第十课	格助词特殊用法及其他助词的用法	52
练习 (二)		
第十一课	某些助动词、助词及数词的用法	59
练习 (三)		
第十二课	动词和形容词活用系统化及敬体句	67
第十三课	日本科学技术文献の検索	74
第十四课	翻译科技文献的若干要求	77
练习 (四)	地熱発電の動向・将来の諸問題	
练习 (五)	地熱発電所の特征	
第十五课	惯用词组	85

第一课 平假名和片假名

日语的假名即字母，分平假名和片假名两种。平假名是草体，片假名是楷书。日语中的五十音图即是日语的五十个字母表。日语假名的排列是按日本的习惯从右向左，并且象中国古书中的文字一样是直写。为了适应我国的习惯，在此采用从左向右的书写法。

平 假 名

あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	ん
い	き	し	ち	に	ひ	み	い	り		
う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	ゆ	る		
え	け	せ	て	ね	へ	め	え	れ		
お	こ	そ	と	の	ほ	も	よ	ろ	を	

日语五十音图中从上到下直读的字母叫行，如あ い う え お称之谓あ行，か き く け こ称之谓か行；其余类推。由左向右横读时的字母叫段。如あ か さ た な は ま や ら わ称之谓あ段，其余类推。

あ い う え お是五个基本元音：あ段的十个字母除あ和や元音外，其余八个字母是辅音。这八个辅音与五个基本元音构成了其它字母的发音。为了便于记忆，可把あ段的辅音的发音分别标成如下国际音标：

か さ た な は ま ら わ

K S T N H M L W

除あ行五个基本元音外，还有や行的五个元音，即や い

ゆ え よ。其中い和え与あ行重复，因而只有や ゆ よ三个元音要记；其发音基本上可读俄语中的 Я、Ю、Ё。

日语中除平假名外，还有片假名。它们只用来表示外来语或特殊词汇。它们的发音与平假名相同。

片 假 名

ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ	ン
イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	イ	リ		
ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ユ	ル		
エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	エ	レ		
オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ヨ	ロ	ヲ	

五十音图中有三个字母い う え是重复的，所以实际上只有四十八个字母，わ行有二字母现已废止使用，而を只是在格助词时才用，因而只有四十五个字母被用在现代日语中。

五十音图中还有四行浊音和一行半浊音。它们是从か行、さ行、た行和は行变来的。

浊

音

半 浊 音

が	ざ	だ	ば
ぎ	じ	ぢ	び
ぐ	ず	づ	ぶ
げ	ぜ	で	べ
ご	ぞ	ど	ぼ

ガ	ザ	ダ	バ
ギ	ジ	ヂ	ビ
グ	ズ	ヅ	ブ
ゲ	ゼ	デ	ベ
ゴ	ゾ	ド	ボ

ぱ	パ
ぴ	ピ
ぷ	プ
ぺ	ペ
ぽ	ポ

ぢ、ぎ行和だ行中じ、ず的发音与ぢ、づ的发音相同，即分别相当于普通话中“鸡”、“滋”的发音。

浊音字母的发音可分别用 g、z、d、b 来表示，而半浊音则用 P 表示。

拗音是由い段辅音与や、ゆ、よ相拏合而成的音节。拗音的标记法是把や、ゆ、よ小写在い段辅音的右下方。拗音拏写见拗音表。

另外，半浊音ぴ也可与や、ゆ、よ构成拗音。

拗 音 表

や 拗 音		ゆ 拗 音		よ 拗 音	
きゃ	キャ	きゅ	キュ	きよ	キヨ
ぎゃ	ギャ	ぎゅ	ギュ	ぎよ	ギヨ
しゃ	シャ	しゅ	シュ	しよ	シヨ
じゃ	ジャ	じゅ	ジュ	じよ	ジヨ
ちゃ	チャ	ちゅ	チュ	ちよ	チヨ
にゃ	ニャ	にゅ	ニュ	によ	ニヨ
ひゃ	ヒャ	ひゅ	ヒュ	ひよ	ヒヨ
びゃ	ビャ	びゅ	ビュ	びよ	ビヨ
みゃ	ミャ	みゅ	ミュ	みよ	ミヨ
りゃ	リャ	りゅ	リュ	りよ	リヨ

拗音变长音时,在有关的拗音后加あ或う。きゃ之后加あ如きやあ,きゅ之后加う如きゅう,きょ之后加う或お如きょう。

促音是把つ小写于某个字母的右下方,此字母读时要短促有力,象是停顿一下。此时つ不发任何音。日语中一般把促音分成舌尖促音,喉头促音及两唇促音。若促音つ后面辅音是さ行或た行,属舌尖促音。若つ后是か行辅音,则属喉头促音。若つ后是ぱ行辅音,则属两唇促音。例如:けっせき(缺席)、がっこう(学校)、にっぽん等是属于这三种促音。

拨音是五十音图中最后字母“ん”,也叫做鼻音。它只是跟在其他字母后面,一般不能单独使用。

速成法学日语,一般是在短期内重点学习语法。但是为了提高学习效果,对于日语字母的发音也要求尽可能达到正确无误。对于一些常用的词汇应该记熟,而发音的正确与否也会影响词汇的记忆。因此为了便于以后的课堂学习,学员应在短期内掌握五十音图的发音。除发音外,还要求熟记每个字母的书写,做到不论是平假名还是片假名,都应正确地读出发音。此处所要求的正确发音也是相对而言的,当然,达到发音正确无误,通畅流利地阅读科技文献,经过一定努力也是可能的,但已超出了这种速成学习班的范围了。



第二课 句子和词的分类

一个句子是由不同的词类所组成的。日语也象其他语言一样，有名词、代词、数词、动词、形容词、副词、连体词、连接词、感叹词、助动词和助词。日语的句子就是由这些不同的词类组成的。

从语法上讲，日语中有些词类是没有词尾变化的，因而是比较容易掌握。有些词类如动词、助动词、形容词等有词尾变化，并且经过变化后往往不容易认出其原来的形状，因而对查日文字典造成了一定的困难。为了学会能看日文科技文献，必须很好地掌握动词、助动词和形容词的变化。这些词类以后再讲，现首先学习格助词。

格助词 日语中的名词、代词及数词都没有词尾变化，在一个句子中它们到底起什么作用是靠格助词来表示。

主格助词が が在一个句子中的某一名词、代词之类的词之后，这个名词或代词就是句子中的主语，主语是在句子中发出动作的词。例：

光沢が優れる

光泽优良

原子核が分裂する

原子核分裂

温度が上る（あがる）

温度上升

耐水性が向上する

耐水性提高

事故が発生する

发生事故

宾格助词を を加在一个句子中的某一名词、代词之类的词之后，这个名词或代词就是句子中的宾语。宾语是在句子中接受动作的词。例：

塗料を使用する。

使用涂料

温度を下げる

降低温度

硫酸銅を溶かす

溶化硫酸铜

学生が計算をする

学生进行计算

ごはんをたべる

吃饭

上述几个例句中皆用を来表示句中的宾语。但有些文法认为不及物动词不能有宾语，因而有些动词要求を，但并不表示宾语。为了简便起见，我们也可以把某些不及物动词要求的を视为宾格助词。例：

橋をわたる

过桥

飛行機が空をとぶ

飞机在天空飞

领格助词の の相当于汉语的“的”、“之”字，名词之后加上の，该名词即变为定语，即相当于俄语中名词第二格。例如：

先生が学生の計算の結果をしらべる（調べる）

老师检查学生的计算的结果。

わたくしの万年筆をつかう（使う）用我的自来水笔

春の雨がふる

降春雨

原子力の時代が来る

原子能的时代到来

東の風がふく

东风吹

补格助词に に加在名词之后表示位置，在俄语或德语中相当于某些前置词或介词的形式。可用来表示地点、时间、行为、目的等。に的用法在所有格助词中是较为复杂的一个。本课只介绍其最基本用法。例：

温度が摂氏三十五度に上る。

温度上升到摄氏35度

テーブルの上におく（置く）。

放在桌子上

鋼材の防食に亜鉛が有効である。锌对钢材防蚀是有效的
太陽が大量のエネルギーを地球に供給する。

太阳供给地球大量的能

午後1時に北京につく

下午1点到达北京

水が水蒸汽にかわる(変る) 水变成蒸汽

原子エネルギーを平和産業に利用する。

把原子能用于和平事业

补格助词で で用来表示范围、场所、原因、方法等，汉译成“在”或“用”。

近頃は激しい労働は皆機械でやる。

近来剧烈的劳动皆用机械进行

我我は最も新しい方法で学生を教える。

我们用最新方法教学生。

人工で纖維をつくる(造る) 用人工制造纤维

万年筆で字をかく(書く) 用自来水笔写字

2周間でできる 两星期完成

补格助词へ へ表示方向，近似汉语的向、往等。へ作格助词时发音为え。例：

飛行機で東京へとぶ 乘飞机飞往东京

冬服を箱へ詰める 冬衣装入箱内

直線をA Bの方向へ延長する

把直线往A B方向延长

水平座标軸へ垂線をおろす 向水平座标轴作垂线

补格助词と 其用法有如下几种：

1. 表示事物变化结果，可汉译为“成”、“为”。例：

木が石炭と化する 木化为煤

液状合金を陽極とする 把液状合金作阳极

2. 表示动作的共同者，可汉译为“和”。例：

先生が学生といっしょに研究する。

老师和学生一块研究

3.表示行为的目标。例:

人間が自然と闘争する。

人类同自然作斗争

困難と戦う

同困难战斗

4.表示思考或称谓内容。例:

二つの平面の交線を直線という

两个平面的交线叫直线

円周の一部份を弧とよぶ(呼ぶ)

圆周的一部份称之为弧

もう1周間でこの実験がおわると思う(おもう)

我想:再一个星期实验就结束

补格助词より より用来表示比较对象,可汉译为“比”或“较”。より有几种用法:

1.より接在名词之后,汉译为“比”。例:

鉄は銅より硬い。 铁比铜硬

この体温計はあの体温計より正確です。

这个体温表比那个体温表正确

去年より今年の方がいい。 今年比去年好

被防蝕体Cの電位は規定の防蝕電位 P_c より高い。

被防蚀体C的电位比规定防蚀电位 P_c 高。

2.より表示与其……无宁、胜于之意。

聞くより見る方がよい。 听不如看

3.有时接于动词之后可汉译为除……之外。例:

歩くより仕方がない。 除步行外没有办法

4.表示“从”、“自”的意思。例:

君は何時日本より帰ってきたか。

你何时从日本回来的

北京より広州に至る。 由北京至广州。

补格助词から和まで 从……至……, 表示时间、地点。

例: このバスは河南から河北まで行く。

这辆公共汽车由河南驶到河北。

人を地球から月の世界までおくる(送る)。

把人从地球送到月球世界去。

补格助词から可单独使用, 并可汉译为“从”、“用”、“由于”。例:

9月から新学期がはじまる。 新学期从9月份开始

石炭から織物をつくる。 用煤制造纺织品。

蛔虫から腹痛をひきおこす(引起す)。

由于蛔虫而引起腹痛。